

本プロジェクトでは昨年度と同様に、ボストン美術館が所蔵する1,000点を超える京焼と関連文献調査を3月に予定していましたが、残念ながら日程調整ができず調査はキャンセルせざるをえませんでした。同美術館関連の京焼研究については来年度以降も継続する予定です。

画像データベースについては古くなったシステムの更新を行いました (URL: <http://www.dh-jac.net/db1/mjci/>)。更に2件の京焼関連文献の画像、及び英文の登録を終えて、以下の2件をデータベース上に公開しました。

1. 英国リヴァプールの羊毛業者であり 19 世紀後半を代表する日本陶磁器コレクターとして知られるジェームス・ロード・ボウズ (James Lord Bowes: 1834-1899) による『Keramic Art of Japan』 (London: Sotheran & Co., 1881)。

2. 明治期に日本の海軍のお雇い外国人となり、後にジャーナリストとして活躍したフランシス・ブリンクレー (Francis Brinkley: 1841-1912) による『Japan: Its History Arts and Literature: Ceramic Art Volume 8』 (Boston, J. B. Millet Co, 1901)。

昨年度、アメリカの個人コレクション所蔵で、ニューヨークで1898年1月22日に発行された雑誌『Harper's Weekly』の記事を撮影しました。ここには、有名なワシントンDCの桜の植樹に尽力した人物として知られるエリザ・シドモア (Eliza Ruhamah Scidmore: 1856-1928) が、佐賀、岐阜、京都、横浜の著名な陶芸家の工房を訪ねた時の様子を詳細に記した「The Porcelain-Artists of Japan」という記事が掲載されています。現在翻訳作業を進めており、英文の書き出しと翻訳が終了次第、データベースでの公開を予定しています。

前崎 信也 (芸術資源研究センター非常勤研究員)